



**Hinemos クラウド管理オプション
Ver2.0 Standard for Cloudn**

リリースノート 第3版

目次

1	はじめに	3
1.1	ライセンス	3
2	リリースノート	3
2.1	ver 2.0.5 for Cloudn での機能改善・不具合修正	3
2.1.1	機能追加	3
2.1.2	機能改善	3
2.1.3	不具合改修	3
2.2	ver 2.0.4 for Cloudn での機能改善・不具合修正	3
2.2.1	仕様変更	3
2.2.2	機能改善	4
2.2.3	不具合改修	4
2.3	ver 2.0.3 for Cloudn での機能改善・不具合修正	4
2.3.1	仕様変更	4
2.3.2	不具合改修	4

1 はじめに

Hinemos クラウド管理オプションとは、さまざまなプライベートクラウド/パブリッククラウドサービスにより構成された環境を、Hinemosにて効率良く運用するための機能オプションです。

1.1 ライセンス

Hinemos クラウド管理オプションは **GNU General Public License** となります。各種ドキュメントは **GNU General Public License** ではありません。各種ドキュメントの無断複製・無断転載・無断再配布を禁止します。

2 リリースノート

2.1 ver 2.0.5 for Cloudn での機能改善・不具合修正

2.1.1 機能追加

- ・ #2814 【CloudStd】自動検知するノードのノードプロパティの指定
自動検知時に作成されるノードのノードプロパティのうち、いくつかの項目について、ユーザが設定ファイルで指定した値を格納可能できるようにした。

2.1.2 機能改善

- ・ #2726 【CloudStd】自動検知時に割当対象のスコープが無かった場合にエラーログが出力される
hinemosAssignScopeldによる割り当て先スコープが無かった場合に、自動検知が実行されるたびにマネージャのログに例外が出力されていたため、その出力を抑制した。

2.1.3 不具合改修

- ・ #2738 【CloudStd】クラウド[テンプレート作成・変更]ダイアログに関するいくつかの不具合
クラウド[テンプレート作成・変更]ダイアログで、一度でもデプロイ時・起動時・停止時のジョブを選択してしまうとそれを解除することができない問題を修正した。
また、Azure版においてテンプレート変更時に登録時のイメージIDが表示されない問題を修正した。
- ・ #2777 【CloudStd】メニューからクラウドサービスを開こうとすると文字化けしている
メニューから「ビュー」>「クラウド」と選択した場合に、「クラウド[サービス]」の表示が正しくされていなかった問題を修正した。
- ・ #2800 【CloudStd】IPアドレスの自動更新の無効化が出来ない
インスタンスのIP更新検知のプロパティ (hinemos.cloud.autoupdate.node) を無効化しても、実際にはIP更新検知が行われていた問題を修正した。

2.2 ver 2.0.4 for Cloudn での機能改善・不具合修正

2.2.1 仕様変更

- #2682 シークレットキーが大きいクラウドサービスでシークレットキーが入力できない
シークレットキーが非常に大きいクラウドサービスにおいて、シークレットキーの入力欄が足りないため、シークレットキーの入力桁数を増やし、合わせて画面仕様を変更。
- #2749 テンプレート機能で64文字以上のIDを持つイメージを指定すると登録できない
イメージIDが非常に大きいクラウドサービスにおいて、テンプレート機能でイメージを登録できないため、IDの桁数を増やして登録可能なように仕様変更。

2.2.2 機能改善

- #2754 クラウド管理オプションの Hinemos HA on AWS 対応
クラウド管理オプションのインストーラーを改善し、Hinemos HA on AWS の環境上にクラウド管理オプションをインストールできるようにした。

2.2.3 不具合改修

- #2628 アカウントリソースを示すノードのプラットフォームがOTHERとなってしまう
アカウントリソースを示すノードのノードプロパティで、本来であればプラットフォームとして「AWS」や「Cloudn」となるところが、「OTHER」となってしまう問題を修正。
- #2681 【Cloudn】シークレットキーのみの変更が反映されない
アクセスキーを変更せずに、シークレットキーのみを変更した場合に、シークレットキーの変更が反映されない問題を修正。
- #2679 【Cloudn】アンインストール時にCloudn以外の情報を消してしまう可能性がある
アンインストールを実行した場合に、Cloudn以外の情報を消してしまう可能性があり、明確にキーを指定することで消すべき情報以外を削除しないように修正。
- #2729 【Cloudn】ライブラリの依存関係で他クラウドサービスと共存できない
Hinemosマネージャ・他クラウド管理オプションとの間で、使用しているライブラリに競合が発生し、同居できないため、ライブラリのバージョンを同居可能なものへと変更。

2.3 ver 2.0.3 for Cloudn での機能改善・不具合修正

2.3.1 仕様変更

- #2612 テンプレートジョブ作成ウィザードで、実行ユーザとして「エージェント起動ユーザ」が選べるようになった
テンプレートジョブを作成するウィザードの「コマンド/共通スクリプト[登録・変更]」ダイアログに、実行ユーザとして任意のユーザを指定方法に加え、「エージェント起動ユーザ」を選択できるようになった。
Windows環境でジョブを実行する際には、エージェントの実行ユーザと同じユーザとする必要があるが、Windowsごとにエージェントの起動ユーザが異なる可能性があり、特にAWSのWindowsテンプレートの場合、サービス登録した場合のデフォルト実行ユーザがホスト名となるため、事実上実行ユーザを固定することが難しかった。そのため、Windows環境へのテンプレートジョブにおいては「エージェント起動ユーザ」を選ぶことで、自動的にエージェント起動ユーザにてジョブが実行可能となった。

2.3.2 不具合改修

- #2611 共通スクリプトを使ったテンプレートが実行できない
共通スクリプトのダウンロード機能を実行した場合に、権限が不足して常に行に失敗していた問題を修正。

- #2613 自動検知で登録されたノードに対してプロセス監視が実行できない
自動検知で登録されたノードに対してプロセス監視を実行しようとしても、監視が実行されない問題を修正。
- #2616 インスタンス作成時にファシリティ名に日本語を入力するとエラーとなる
クラウド管理オプションからインスタンスを作成・リストアした場合に、ファシリティ名として日本語などの文字列を入力すると、作成に失敗する問題を修正。これまではCloudnに仮想サーバを作成する際に、仮想サーバの「表示名」としてファシリティ名を指定していたが、仮想サーバの「表示名」としてファシリティIDを指定するように修正した。

Hinemos クラウド管理オプション ver2.0 Standard for Cloudn リリースノート

非売品

- 禁無断複製
- 禁無断転載
- 禁無断再配布

Hinemosは（株）NTTデータの登録商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

なお、本文中にはTM、Rマークは表記しておりません。